

北海道大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】

耐性菌の発現やその伝播に及ぼす抗菌薬・消毒薬使用の影響に関する後ろ向き観察研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 井関 健 （薬剤部・部長／教授）

【研究の目的】

過去に、抗菌薬を処方された患者さんのデータを調査し、最終的には当院全体での抗菌薬の処方された日数、投与量を集計します。また、感染症の検査の 1 つに、培養検査というものがあります。これは、感染症が疑われる患者さんの痰や血液、尿などを採取し、その中に細菌が存在しているかを調べるもので、日常診療の中で通常行われる検査の 1 つです。この検査から、その患者さんが耐性菌を保有しているかどうかわかります。この研究では、抗菌薬が処方された量、日数と耐性菌の発生数に関連性があるかどうかを調査するものです。このデータから、より有効な感染症治療を行うための情報を得ることができる可能性があります。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2006年1月から2016年12月までの間に北海道大学病院に通院又は入院し、注射または内服の抗菌薬の投与を受けた方を対象とします。

○利用するカルテ情報

抗菌薬の投与量・投与日数、培養検査（抗菌薬の感受性試験）、併用薬、診断名、基礎疾患、年齢、性別、身体所見、治療歴、入院病棟、入院診療科、臨床検査結果（生化学検査、血液学検査）

【研究実施期間】 実施許可日～2019年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 薬剤部 富山 直樹

〒060-8648 北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

電話 011-706-5754 FAX 011-706-7616